

【記入例】 記入方法は、下記を参照してください。

事業系一般廃棄物減量計画書 **注①** 年 月 日

(あて先)川口市長

(建築物名称) **川口ごみまるビル**

(所在地) **川口市青木〇丁目〇番〇号**

注② (所有者氏名) **ごみまる商事㈱ 代表取締役社長 川口 太郎**

川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第17条第3項の規定により、事業用建築物における 年度の減量計画を、以下のとおり提出します。

建築物の属性	
建築物の規模	地上 4 階(地下 1 階) 延べ面積 5,320 m ²
当該建築物を使用している事業者の名称	注③ ごみまる商事㈱ 〇〇銀行青木支店 △△喫茶店
在館人員	従業員 320 人 外来者(1日平均) 700 人 計 1,020 人
建築物の用途	事務所 2 社 4,150 m ² 店舗 1 店 550 m ² その他()所 m ² 住宅世帯 m ² 共用部分 注④ 620 m ²
廃棄物、再生利用対象物の種類	処理業者、許可番号
廃棄物収集運搬業者	一般ごみ ××清掃 〇〇番
	粗大ごみ △△商事 〇〇番
再生利用対象物の回収業者	新聞紙・雑誌 〇〇紙業
	びん・かん ××商会
廃棄物管理責任者の役職及び氏名	ごみまる商事㈱ 総務課長 戸塚 安行

年度区分	種類 注⑤	前年度(年4月～ 年3月)実績				当年度(年4月～ 年3月)計画				対前年度比		
		A 注⑥ 発生量 トン	処理区分			D 注⑥ 発生量 トン	処理区分			発生量の増減 (D-A) トン	再生利用量の増減 (E-B) トン	廃棄物処分量の増減 (F-C) トン
			B再生利用量 トン	C廃棄物処分量 トン	再生利用率 (B/A) %		E再生利用量 トン	F廃棄物処分量 トン	再生利用率 (E/D) %			
一般ごみ	厨芥類(茶殻・残飯・吸殻等の生ごみ)	50		50	0	45		45		△5		△5
	その他(注⑦)											
	一般ごみ合計	50		50	0	45		45		△5		△5
粗大ごみ	家電品	3		3	0	2		2		△1		△1
	家具類	5		5	0	5		5		0		0
	粗大ごみ合計	8		8	0	7		7		△1		△1
再生利用対象物	新聞紙	1	1		100	2	2		100	1	1	
	雑誌	1	1		100	1	1		100	0	0	
	段ボール	3	3		100	2	2		100	△1	△1	
	その他の紙類	5	4	1	80	5	5		100	0	1	△1
	びん	4	4		100	4	4		100	0	0	
	かん	5	5		100	6	6		100	1	1	
	ペットボトル											
	紙パック	1	1		100	1	1		100	0	0	
	その他(注⑦)											
	再生利用対象物合計	20	19	1	95	21	21		100	1	2	△1
その他	注⑦											
その他合計												
総合計		78	19	59	24	73	21	52	29	△5	2	△7

注⑧ごみ減量及び再生利用の現状

平成16年5月より、各フロアに3段のリサイクルボックスを置き、紙類の分別を実施している。分別の種類は、①新聞②雑誌③その他の紙。ダンボールは、テナント毎にまとめて保管場所へ。びんとかんも同じ。リサイクルボックスは、清掃員が毎日、夕方回収し、保管場所へ。資源回収業者には、週1回引き渡している。

注⑨今年度の目標

- 今後の取組みについて
分別体制は出来たので、内容の充実を図っていく。
コピー用紙を全て再生紙に切り替える。
- 前年度と比べて増減した理由
テナントが1社増えるが、さらに徹底した分別等により、ごみの減量を図る予定である。